

あいつぐ墨書土器の出土

——静岡県坂尻遺跡——

静岡県袋井市にある坂尻遺跡では国道一号線袋井バイパスの建設工事の事前調査として、一九八〇年一二月から発掘調査が行われており、本誌第四号に掲載された木簡の他にも、墨書土器が多数出土している。八二年三月に公刊された同遺跡の発掘調査概報によると二〇〇点余をこす墨書土器が出土している。同概報には二〇〇点余の墨書土器の积文と、代表的なものの积文とが載せられており、墨書中には「東京」「玉郷長」「駅子」「千山」「竹寸家」等がみえる。

・文献 『昭和56年度一般国道一号線袋井バイパス（袋井地区）

埋蔵文化財発掘調査概報——坂尻遺跡第二次調査——』

編集 浜松市中沢町一——袋井市教育委員会